

目次

はじめに	1
第1章 交流施策の目的と意義	1
1 地方を取り巻く状況について	
2 地方を取り巻く環境の変化	
3 成熟社会における個人の志向の変化	
4 みえてくる一つの処方箋	
5 モデルケースの選定	
第2章 事例研究 ～福島県福島市における「観光」の現状と課題～	3
1 福島市の概要について	
2 観光施策の現状	
3 観光施策における今後の課題	
第3章 政策提言 ～これからの交流事業のコンセプト～	6
1 ツーリストビューロー（拠点施設）を創る!!	
2 観光コンシェルジュを創る!!	
3 地域ネットワークを創る!!	
4 拠点へ集約するための仕掛けを創る!!	
5 地域資源を活用した観光による交流人口の増加に向けて!!	
おわりに	13

提 言 の 要 約

現 状

全国の各自治体は人口減少、少子高齢化、地域経済の衰退等により、活力を失っている。

課 題

地域の活性化のために、来訪者に長時間滞在していただくための手段が必要とされる。

目 標

ま ち の に ぎ わ い を 創 る
～地域資源を生かし、交流人口の拡大をめざして～

その1

ツーリストビューローを創る

その2

観光コンシェルジュを創る

その3

地域ネットワークを創る

コンセプト:まちなぎわいを創るためには、より多くの来訪者を呼び込む必要があるが、そのためには、来訪者の満足度を高め、より多くの方にリピーターになっていただくとともに、まちなぎわいを効果的に発信し、来訪者の裾野を拡大する必要がある。既存の観光に飽きてしまった来訪者に、地域資源を効果的に活用することにより、「そこに行けば何か楽しい体験ができ、いろいろな人との交流もでき、元気になり、そして大人になることとの引き替えに心の片隅にしまっていた大切なものを、再び思い出させてくれるような」付加価値のあるものを提供するため提言を行う。